

とく しょ あん ない 読 書 案 内



ほうかご じかんわり
放課後の時間割 おかだじゅんちや かいせいしゃ かいせいしゃぶんこ
岡田淳著 偕成社 (偕成社文庫) 1990年刊 197p
ぶんるい
分類913

わたし しょうかい ほん ほうかご じかんわり ほん
私が紹介したい本は、「放課後の時間割」という本です。

この本に登場する「学校ねずみ」は、ただのねずみではないのです。

二本足で歩き、おまけに人間の言葉を話すのです。そのことを発見したのが、その小学校で図工の先生をしていた「ぼく」です。

おまけにこのねずみは、おもしろい話をたくさん知っています。「ぼく」はその話を聞くのがとても楽しみになり、放課後に図工室へいくことを期待するようになるのです。

ここに出てくる話の中で特に愉快な話は「しゃっくり」と「赤い潜水艦」です。特に「しゃっくり」はこの前、学級で読み聞かせをしたら大笑いでした。是非読んでみてください。(2年1組担任 関原 渉)

さが
ぼくを探しに シルヴァスタイン作 倉橋由美子訳 講談社 1979年刊
1冊 ぶんるい
分類726

なに た
何が足りない

それでぼくは楽しくない

足りないかけらを探しに行く

ころがりながらぼくは歌う

「ぼくはかけらを探してる、足りないかけらを探してる、

ラッタッタ さあ行くぞ、足りないかけらを・・・」

自分に足りないかけらを探して「ぼく」は旅に出ます。かけらは見つかるのでしょうか。

かけらはどんな形をしているのでしょうか。そして見つかったら何がわかるのでしょうか。

この本を読んで、いろいろなことを考えてほしいです。(主事 ますこあやの 益子綾乃)